

## 「三菱UFJ」新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ 補足資料におけるブラジルレアルコースの為替ヘッジプレミアムの低下について

追加型投信 / 海外 / 債券

ブラジルのマンテガ財務相は4月7日に「レアルの過度な上昇を抑制するための措置を今後も講じていくが、長期的な上昇は避けられない」と発言しました。この発言を受け、市場ではインフレ抑制の観点から同国当局はある程度のブラジルレアル高を容認せざるを得ないとの見方が強まり、ブラジルレアルへ海外投資家からの資金流入が増加し、ブラジルレアルは対円で大幅に上昇しました。

当資料におけるブラジルレアルコースの為替ヘッジプレミアムは、ブラジルレアルの短期金利（JPモルガンELMI+の利回り）- 米ドルの短期金利（1ヵ月LIBOR）を用いて計算しております。ここでのブラジルレアルの短期金利は、為替の先高観が予想されると利回りが低下します。そのためブラジルレアルへの資金流入が続く足元の状況下において、為替ヘッジプレミアムは縮小傾向に動いています。

ブラジルレアルの短期金利（JPモルガンELMI+の利回り）は、需給の悪化や市場参加者の期待などにより変動するため、今後もこのような形で為替ヘッジプレミアムは変動すると考えられます。また、今後新たなブラジルレアル高抑制策の発表などにより、短期的に為替ヘッジプレミアムが大きく変動する可能性があります。  
(ブラジルのインフレ率、ブラジルレアルのヘッジプレミアムの推移についてはP2をご覧ください。)

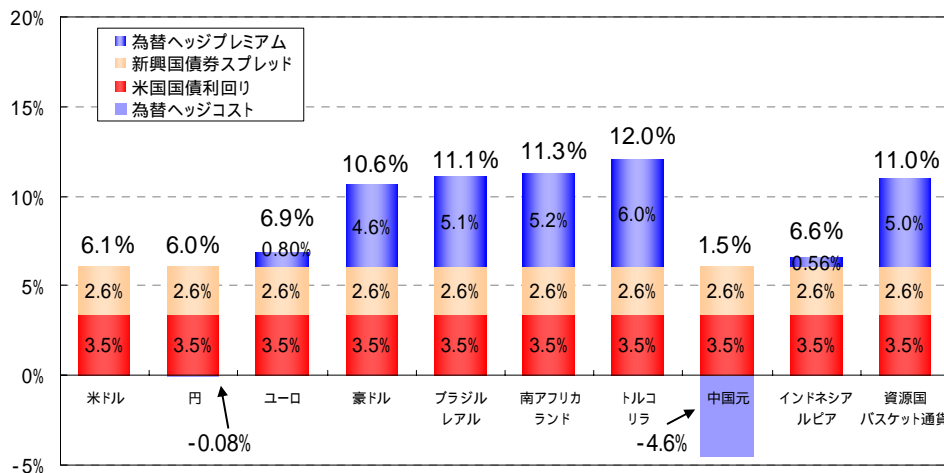
### 米ドル建新興国債券利回りと為替ヘッジプレミアム / コスト (シミュレーション)

当シミュレーションは、下記のインデックス、短期金利の数値を用いて三菱UFJ投信が行った試算です。実際に運用されている各ファンドの利回りや期待される収益力を示したものではありません。したがって将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、当ファンドでは米ドルに対して各ファンドの対象通貨で為替ヘッジを行うため、円に対する各ファンドの対象通貨の為替変動リスクが生じます。

- ・新興国債券スプレッド : JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド
- ・米国債利回り : 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り  
為替ヘッジプレミアム / コストは各通貨の短期金利 - 米ドルの短期金利で算出しています。
- ・先進国通貨の短期金利 : 米ドル、円、ユーロ、豪ドルは1ヵ月LIBOR
- ・新興国通貨の短期金利 : ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、中国元、インドネシアルピアはJPモルガンELMI+の利回り
- ・資源国バスケット通貨 : 豪ドルは1ヵ月LIBOR、ブラジルレアル、南アフリカランドはJPモルガンELMI+の利回りを使用し、豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドに3分の1程度ずつ投資したと仮定し、計算しています。

LIBOR: ロンドン・インターバンク・オファード・レート = 「ロンドン銀行間貸し手金利」のことで、ロンドン市場における銀行間取引の金利。

上記のインデックス等は、当ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。当資料で使用したインデックス等についてはP5をご覧ください。  
(2011年4月8日現在)



リターンの源泉に対するそれぞれのリスク

各ファンドの通貨と米ドルの2通貨間の金利変動リスク

新興国 (JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの構成国) の信用リスク

米国の金利変動リスク

(出所) ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

上記グラフが示す為替ヘッジプレミアム、利回りはあくまでも一時点の断面であり、右上の要因によって変動します。

上記における為替ヘッジプレミアム / コストは、該当する通貨間の短期金利差により算出されていますが、為替予約市場の需給の影響を受け、市場で公表されている金利と大きく乖離する場合があります。

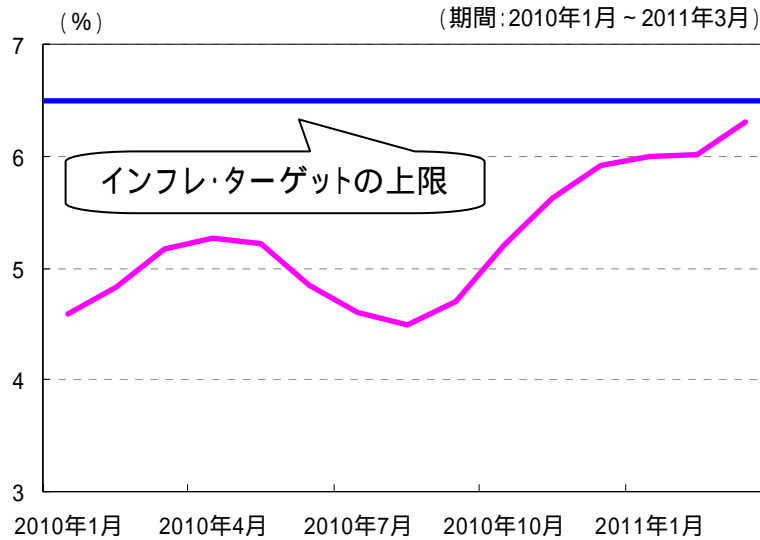
例えば、相対的に為替取引量が少ない、もしくは、為替取引に関する規制が多い新興国通貨の取引においては、為替ヘッジプレミアム / コストの値が短期間で大きく変動する、または、市場で公表されているヘッジ対象通貨の金利が米ドルに比べて高くても為替ヘッジコストがかかることがあり、また、その逆となる場合もあります。

- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。従って、上記の各利回りの合計値と合計利回りが相違する場合があります。
- ・上記は理解を深めていただくために例示したものであり、全ての債券が該当するとは限りません。また、リスクは上記に限定されません。
- ・上記の為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストの値は、各ファンドの実際の為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストとは異なります。また、米ドルと対象通貨の金利環境が逆転した場合や投資環境の変化によっては、当該為替ヘッジによるコストが発生する場合があります。
- ・上記利回りは市場および指数の利回りであり、各ファンドの利回り / 分配金の水準を示唆・保証するものではありません。
- ・各ファンドの実際の利回りは新興国債券の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率等の要因により変動しますので、上記の利回りとは異なります。
- ・米ドルコース以外のファンドでは対米ドルで為替ヘッジを行うことにより、各ファンドの対象通貨の為替変動リスク (対米ドル) をヘッジしますが、完全にヘッジを行うことができないとは限りません。よって為替ヘッジプレミアムを十分に得ることができなったり、米ドルに対する為替変動の影響を受ける可能性があります。
- ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

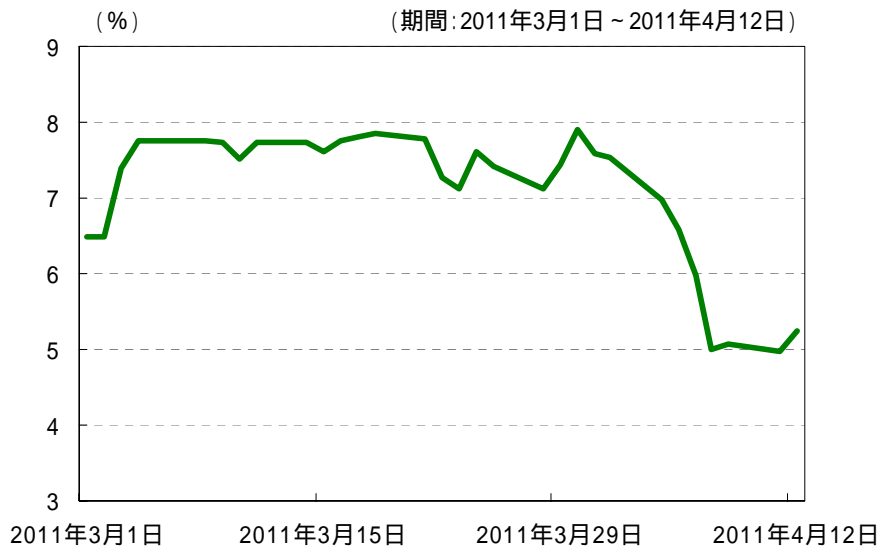
## 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

### ブラジルのインフレ率の推移(前年同月比)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

### ブラジルレアルのヘッジプレミアムの推移(シミュレーション)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

為替ヘッジプレミアム: ブラジルレアルの短期金利(JPモルガンELMI+の利回り) - 米ドルの短期金利(1ヵ月LIBOR)を用いて試算。  
当資料で使用したインデックス等についてはP5をご覧ください。

・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。  
・上記利回りは市場および指数の利回りであり、当ファンドの各コースの利回り・分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

各ファンド(マネーブルファンドを除く)は、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

マネーブルファンドは、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

#### ファンドの特色

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズは、以下の11本のファンドで構成される投資信託です。

- <円コース> (毎月分配型)
- <米ドルコース> (毎月分配型)
- <ユーロコース> (毎月分配型)
- <豪ドルコース> (毎月分配型)
- <ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
- <南アフリカランドコース> (毎月分配型)
- <トルコリラコース> (毎月分配型)
- <中国元コース> (毎月分配型)
- <インドネシアルピアコース> (毎月分配型)
- <資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)
- <マネーブルファンド>

・各ファンド(マネーブルファンドを除く)は、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等を実質的な投資を行い、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。また、円建国内証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ形式)

・マネーブルファンドは、マネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

・各ファンド(マネーブルファンドを除く)が投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行います。これにより、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」が生じます。

・各ファンド(マネーブルファンドを除く)の対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該ファンドでは「為替ヘッジプレミアム」の獲得が期待でき、米ドルの短期金利より低い場合、当該ファンドでは「為替ヘッジコスト」が生じます。

・各ファンド(円コース(毎月分配型)、マネーブルファンドを除く)の基準価額は、為替相場が各ファンドの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。なお、円コース(毎月分配型)では、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

\*資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)においては、3通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)を対象通貨とし、実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。

・各ファンド(マネーブルファンドを除く)は、原則として毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

・マネーブルファンドは原則として、毎年4月・10月の20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

\*資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)の初回決算日は2011年4月20日です。

・各ファンド(マネーブルファンドを除く)において、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。(販売会社によっては、取り扱わないファンドがある場合があります。)

・マネーブルファンドの購入は、マネーブルファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

#### <主な投資制限>

各ファンド(マネーブルファンドを除く)

・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。

・外貨建資産への直接投資は行いません。

#### マネーブルファンド

・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

## 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

各ファンド(マネープールファンドを除く)

#### 市場リスク

##### (価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

##### (為替変動リスク)

「円コース(毎月分配型)」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

「米ドルコース(毎月分配型)」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「ユーロコース(毎月分配型) / 豪ドルコース(毎月分配型) / ブラジルリアルコース(毎月分配型) / 南アフリカランドコース(毎月分配型) / トルコリラコース(毎月分配型) / 中国元コース(毎月分配型) / インドネシアルピアコース(毎月分配型)」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

「資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

#### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

#### カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

## 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。  
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### マネープールファンド

#### 市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

#### 当資料で使用したインデックスについて

##### JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities Inc.が算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。組入比率の調整を行わない指数としてJPモルガンEMBIグローバルがあります。

##### JPモルガンELMI+

JPモルガンELMI+とは、J.P.Morgan Securities Inc.が算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。

#### その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

#### マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

#### リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

**三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ**
**手続・手数料等**

お申込みメモ	
購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限り、 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月17日、2月21日、4月22日、5月30日、7月4日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	円コース(毎月分配型) / 米ドルコース(毎月分配型) / ユーロコース(毎月分配型) / 豪ドルコース(毎月分配型) / ブラジルレアルコース(毎月分配型) / 南アフリカランドコース(毎月分配型) / トルコリラコース(毎月分配型) / マネーボールファンド 2014年4月21日まで(2009年4月28日設定) 中国元コース(毎月分配型) / インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2014年4月21日まで(2010年5月6日設定) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2014年4月21日まで(2011年1月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合および各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)の第1回目の決算日は2011年4月20日 マネーボールファンド 毎年4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネーボールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 (社)投資信託協会  
 (社)日本証券投資顧問業協会

## 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

## 手続・手数料等

ファンドの費用・税金

## ・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

## 各ファンド(マネーブルファンドを除く)

## お客さまが直接的に負担する費用

## 購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。
--------	---

## 換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

## お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

## 保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.596% (税抜 年1.52%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
---------------	---

その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
------------	--

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## マネーブルファンド

## お客さまが直接的に負担する費用

## 購入時

購入時手数料	ありません。
--------	--------

## 換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

## お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

## 保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年0.0105% ~ 0.5775% (税抜 年0.01% ~ 0.55%) 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
---------------	---

その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。
------------	---------------------------------

その他の費用・手数料	これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
------------	---

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034  
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

< オフィシャルサイト > <http://www.am.mufg.jp/>  
< モバイルサイト > <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



